

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第340回

甲本ヒロト

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和5年1月30日

編集委員：入試広報室 鈴木

今回の言葉

ほうきとか持ってエアギターとか
したりするわけじゃん、憧れて。
その延長なんだよ。

甲本 ヒロトは、日本のミュージシャン、シンガーソングライター、
歌手。身長 174cm、血液型 O 型。既婚。俳優の甲本雅裕は実弟。



Column

みなさんは幼い頃、どんなジャンルに進んでいきたいと思っていましたか？自分が主演となるジャンルや、名脇役になるジャンルなど、どのジャンルにも様々な魅力があると思います。今回の言葉を知って、自分の幼い頃に友達同士でプロ野球選手の真似をして『これは誰？』というクイズを出しあったり、バラエティ番組の真似をして『○○ごっこ』的に遊んだりしたことを思い出しました。

真似はそもそも興味がなければしないものです。そういう意味では『○○ごっこ』を通じて自分の好き嫌いや得手不得手などの“特性”を見つけられたり自分が本気で打ち込んでいく価値があるものかどうかを見極めるための“お試し”のような部分があるのかもしれません。私はそういう経験から最終的に自分の特性を他のことに見出すことになりましたが、幼い頃に遊びとしてハマっていたことが生涯の自分の武器になったという人もいるんだろうなと思うと、子どものうちから自分が一生楽しめるものに出会えた“幸運な人”という羨ましさに似た憧れや“これだ！”と思った瞬間はいつ頃だったのか、理由は何なのか、直感だとしたらなぜここまで続けられたのかなど、その人に対して『同じ匂いがする！』と好奇心がどんどん湧いてきます。そういう意味では、子どもが毎日のように憧れや好奇心を抱いている理由は本能的に自分の人生を形作っていく材料探しのひとつであること、それこそが子どもが持つ素晴らしい才能なのだと感じました。

こういう話になると『甲本ヒロトさんのような“プロ”にまで昇りつめられた人だから』『ほんの一握りの人だけだから』と挑戦することさえ否定されることがあります。私は否定されても諦めませんでした。むしろ否定されればされるほど『この人たちを驚かせてやろう』と思っていました。今思えば『結果オーライだっただけで失敗していたら…』と怖い気持ちにもなりますが、当時の私が持っていた“根拠のない自信”は私自身も驚くほど強いものでした。憧れや夢を持つことで生まれる人間の無限のパワーを体感した一人として、みなさんにも大きな夢や目標を持って進んでいってほしいなと思っています！